

快挙!! 第64回NHK杯全国放送コンテスト沖縄県大会 全部門で全国派遣決定

6月13、14日の両日、沖縄県男女共同参画センターでいりるで行われたNHK杯全国放送コンテスト沖縄県大会で、本校の放送部がアナウンス部門 安福太郎君(3-1) 仲田結香さん(2-4) 優秀賞、朗読部門 新垣裕也君(3-3) 優秀賞、団体ラジオドラマ部門、ラジオドキュメント部門、テレビドラマ部門でそれぞれ優秀賞を受賞しました。

これにより受賞した全部門で、7月25日から東京NHKホールで始まる全国大会派遣が決定し、素晴らしい快挙に学校中が湧いています。

本大会については、私が申し上げるまでもなく放送に携わる高校生たちの目標であり、また将来の自分のキャリアを見据えてしのぎを削る激しい戦いの場でもあります。

アナウンス部門で優秀賞を受賞した部長の安福太郎君にインタビューしたところ「今年3月頃から1年間の予定を立て、練習時間確保に努めた。講習会等に積極的に参加し、取材を多くこなすことで原稿作成を充実させ、全部門において4作品制作を部員に覚悟させた」とありました。

同アナウンス部門で優秀賞の仲田結香さんは「予選で噛んでしまい決勝進出は無理だと思っていた。決勝は不安と緊張でよく覚えていない。結果発表で自分の名前が呼ばれたときは頭の中が真っ白になり涙があふれた」とし、アナウンスの魅力は「原稿作りから自分自身で携われることと、言葉を選び美しい言葉を努めて使うことを心がけた」とありました。

朗読部門とラジオドラマ部門で優秀賞の新垣裕也君は「高校生活最後の大会での入賞で、少々できすぎではないかと思った。最後まで部活をしっかりと続けることの大切さ、それによって身につく確かな実力、そして力が認められたときの嬉しさをすべて味わうことができた」と3年間を振り返っていました。

今後の抱負について、部長の安福君は「とにかく取材! たくさんの人の話を聞き、たくさんの意見や考え方を学び、それを自分たちの作品に昇華させること」とし、東京大会では「沖縄県勢で一番活躍したい!!」と話してくれ、その目ヂカラには強い意志とリーダーシップが感じられました。

本校放送部は現在22名の部員数で、県内で最も多いと聞きます。放送部を支えてきた2、3年生の今までの活躍が部員増に繋がり、今回の全部門において全国大会派遣の快挙にも繋がったものと考えます。生徒たちによる全国大会への企画、制作はそれぞれの部員同士の切磋琢磨によりさらに作品の発表に磨きがかかるものと思ひ、楽しみです。

だって、テーマが〇〇ですから!! (〇〇は秘密です。。)

全国大会派遣の生徒たちと参加部門です。健闘を祈ります。

大嶺旬貴君(3-1)番組部門総括

安福太郎君(3-1)部長、アナウンス、ラジオドキュメント

當山陸君(3-2)テレビドキュメント

新垣裕也君(3-3)朗読、ラジオドラマ

金城昂君(2-1)テレビドキュメント

大城康太君(2-3)テレビドキュメント

知念瞳さん(2-4)ラジオドキュメント

知花夢乃さん(2-4)ラジオドラマ

仲田結香さん(2-4)アナウンス、ラジオドキュメント

新垣有沙さん(1-2)ラジオドラマ

上間月乃さん(1-6)ラジオドラマ

比嘉ゆり佳さん(1-6)テレビドキュメント

